



添付文書

取扱説明書



管理医療機器
家庭用超短波治療器 (70988000)
ぬくもり2-W
医療機器認証番号 21700BZZ00095A01

目次

正しく安全にお使いいただくために……	2~13
1. 一般的注意事項 ……………	4
2. 使用前のご注意 ……………	6
3. 使用中のご注意 ……………	8
4. 使用後のご注意 ……………	10
保管方法及び有効期間等 ……………	10
取扱上のご注意 ……………	11
保守・点検に係る事項 ……………	11
エラー (E1、E2) について ……………	13
雑音を低減するための注意 ……………	13
ぬくもり2-Wの構成内容 ……………	14・15
本体の各部名称とはたらき ……………	16・17
ぬくもり2-Wの主な特長 ……………	18・19
基本的な使用例 ……………	20・21
使用順序 1〈準備〉 ……………	22・23
使用順序 2 ……………	24・25
故障かな?と思ったら ……………	26
操作早わかり ……………	27
保証書の発行について ……………	裏表紙
アフターサービス ・お客様相談室	
ISO認証取得	

このたびは「ぬくもり2-W」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
また、いつでもお読みいただけるよう、大切に保管してください。

正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。
治療器を人に貸したり、差し上げる時には必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り正しくお使いください。

禁忌・禁止

次のような人及び部位には、使用しないでください。

- 高度な末しょう（梢）循環障害による知覚障害のある人（糖尿病など温熱に対して感覚の鈍い人）
- 重度な血行障害のある部位
- 中程度以上の重い浮腫のある部位
- 血友病などの出血性素因の高い人
- 温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人
- 金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ部位
- 刺青及びその周辺部位・ラメ素材等化粧品が使用されている部位
- 出血部位
- 月経時の腹部
- 乳幼児（6才以下、異常に対して意思表示ができない危険があります）
- 男性生殖器
- 適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人
- 頭部（脳、目、耳等）
- その他、医師が不相当と認めた人

併用禁忌

- ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。
- 心電計などの装着型の医用電気機器とは同時に使用しないでください。
- 補聴器は外してください。
- 他の医療機器や電気機器とは同時に使用しないでください。使用する場合は時間をずらして使用してください。

- あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表していますので、内容を理解してから本文をお読みください。

**危険**

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。

**警告**

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意**

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性、または、物的損害が想定される内容を示します。

表示例

は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するための絵表示です。

※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。

※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。

正しく安全にお使いいただくために

1. 一般的注意事項

警告

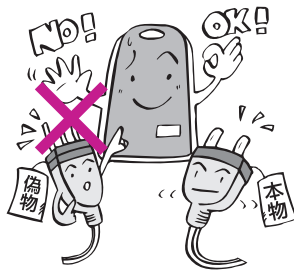
浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。

超短波導子は水に濡らさないでください。万一濡らしてしまった場合は、使用せず、新しい導子と交換してください。

超短波導子にソース・醤油・墨汁・インクなどをこぼした場合は、火傷または熱傷、ならびに焼け焦げの原因となりますので、新しい導子と交換してください。また、導子カバーは、洗濯などで汚れを落とし、十分乾燥させてからご使用ください。

他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。

規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。



治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。

特にペットへの使用は避けてください。

治療中、温感が高すぎると感じた時は、我慢せずに治療を中止してください。または、タオルなどをあてて、熱さを弱めて治療してください。

本体背面及び側面の通気孔をふさぐような使い方（布団の上や下に置いたり、壁に寄せるなど）はしないでください。

本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

警告

本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。

本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用する時は移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。

交流100V、50/60Hz以外では使用しないでください。

規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。

コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。

タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をするると本器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。

定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。

操作を誤ると事故や故障の原因となります。

本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。

内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。

本体の出力口に差し込んだ導子のプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。

プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。

警告

- ❌ 電源コードや導子コードを傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。
- ❌ 電源コードや導子コードのプラグにゴミ、ほこりなどを付着させて使用しないでください。
発火、ショートなどの原因となります。
- ❌ 導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。
- ❌ 保護者、医師または専門家の監督下以外では、子供に使用させないでください。

警告

ださい。また、子供が機器本体及び導子で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

注意

- ❗ 使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。
- ❗ 治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた使用時間を超えないようにしてください。不明な点はお求めの販売店またはお客様相談室(裏表紙)に相談してください。

次の機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがありますので使用しないでください。

危険

- ❌ 電源が入っていない状態で、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。

例) 電位(高周波を含む)電床マット
電気毛布や敷布
電気カーペット

電気毛布や電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。



警告

- ❌ 他の治療器や電気製品(電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど)との同時使用はしないでください。

過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。

- ⚡ 電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源を抜いてください。

誤作動や故障の原因となります。

本器を設置する際は、次の点に注意してください。

警告

- ❌ 水のかかる場所には設置しないでください。

注意

- ❗ 温度、湿度、日光、ほこり、塩分、イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。

- ❗ 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)などが発生しないよう、安定状態に注意してください。

正しく安全にお使いいただくために

2. 使用前のご注意

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

- 警告**
- ❗ 病名などがはっきりしない人
 - ❗ 悪性腫瘍のある人
 - ❗ 心臓に障害のある人
 - ❗ 妊産婦
 - ❗ 体温38℃以上（有熱期）の人
例1) 急性炎症症状 [けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期
例2) 衰弱しているとき
 - ❗ 安静を必要とする人
 - ❗ 血栓症の人

- 警告**
- ❗ 血圧異常の人
 - ❗ 低温やけどをしたことのある人
 - ❗ 寝たきりの人
 - ❗ せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなど、急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人
 - ❗ その他医師の治療を受けている人や体に異常を感じている人

次の人は介護者のもとでご使用ください。

- 警告**
- ❗ マヒなどで身体の自由が利かない人

- 警告**
- ❗ 7～12歳の子供

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。

- 警告**
- ❗ 皮膚知覚が低下している人や部位
 - ❗ 成長期の骨端や骨が非常に突起した部位
 - ❗ 認知症の人や、意思表示ができない人
 - ❗ 判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人
 - ❗ 睡眠薬を飲んだ人（判断能力を欠き事故の原因となります）
 - ❗ 治療部位の皮膚が乾燥していることを確認してください。湿布剤、塗膏剤などが塗られていたり、汗などで濡れている場合は、必ず拭き乾燥さ

- 警告**
- ❗ せてください。
皮膚が濡れたままで治療すると火傷または熱傷の原因となります。
 - ❗ おむつを使用している部位へは照射しないでください。
火傷などの危険があります。
 - ❗ 絆創膏または湿布などの湿った包交物、磁気治療器などの金属物を含む絆創膏の上への照射は避けてください。
 - ❗ 汚れた衣服や汗などで濡れたタオルを使用して治療をするのはおやめください。

警告

！ 次のものを身に付けたまま使用しないでください。

- 使い捨てカイロ
- 金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など
- 導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、サンダーロン®繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン®繊維を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）

また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。

- 特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
 - 磁気入り布団
 - 墨入り（炭素材など）の畳
 - ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳
- 火傷または熱傷などの事故の原因となります。



しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。

スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

！ 全てのコード類は容易に離脱しないように正しく確実に接続してください。発火やショートなどの原因となります。

！ 導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクタの接続不良などが無いが、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。

販売店または製造販売元へお問い合わせください。

警告

！ 超短波導子を使用する際は、正しく装着してください。また、同じ部位で2つの導子を重ねて治療しないでください。

⊘ 2つの導子が重なる状態で放置したり、重ね合わせて使用しないでください。また、コードを束ねたり、巻きつけて使用しないでください。

熱をもち事故や故障の原因となります。

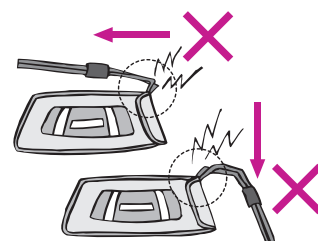
⊘ 使用中の導子を本体や金属類（電気製品、ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）の上に絶対に置かないでください。

熱をもち事故や故障の原因となります。

注意

！ 下図のような方向にコードが引っぱられないように超短波治療器本体を置いてご使用ください。

コード付け根部分の芯線が断線しやすくなります。



！ 導子コードは、超短波の影響を受けやすいもの（金属や炭素繊維など）と接触しないように配置してください。

！ 操作つまみ、ダイヤル、スイッチ、タイマーなどが、正常に作動するか確認してください。

⊘ 金属枠を使用したイスやベッドなどの上で使用しないでください。

ピリッとしたり、火傷または熱傷の原因となります。

正しく安全にお使いいただくために

3. 使用中のご注意

警告

- ❗ 本器に異常を感じた時（異常音がする・本体が熱いなど）は、直ちに使用を中止してください。

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ❗ 身体に異常を感じたり、現れた時（発赤など）は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

症状が悪くなることがあります。

- ❗ 使用当初、低血圧や貧血、または虚弱体質の人は、疲労感を覚えることがあります。

また、身体異常（発赤、腫脹、頭痛、ふしぶしの痛みなど）が現れたり、感じた時は、直ちに使用を中止してください。

中止しても症状が軽減しない場合は、医師に相談してください。

- ❗ 治療目的にあった治療時間・出力を超えないように注意してください。

- ⚡ 雷や地震、停電時は使用を中止し、操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

復帰時に事故や故障の恐れがあります。

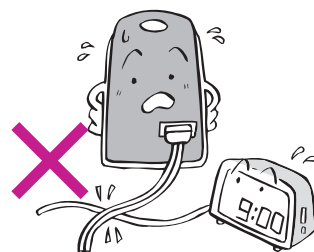
- ❗ 超短波導子は素肌の上から直接あてず、またコードも直接素肌に触れないようにして、必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

直接あてると、火傷または熱傷などの原因となります。

警告

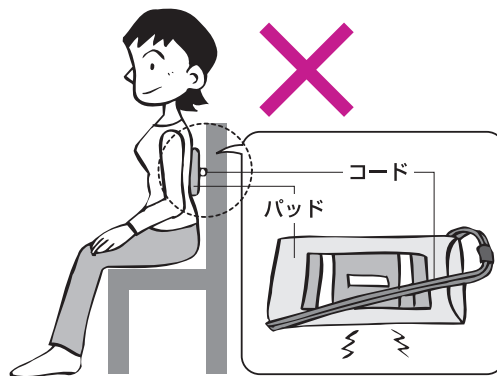
- ❌ 導子に金属を接触させたり出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、導子のコードには金属類を近づけたり他の電気のコードと交わらないようにしてください。

感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。



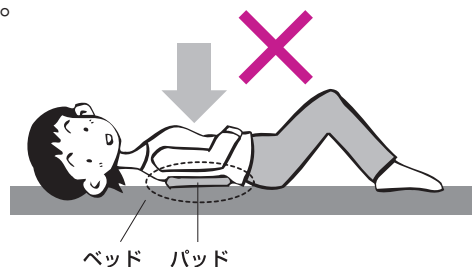
- ❌ 超短波導子のパッドとイス・ベッド・床などの間にコードが挟まった状態で使用しないでください。

パッドがコードに作用して異常発熱する恐れがあります。



- ❌ 超短波導子のパッドが身体とイス・ベッド・床などの間で強く圧迫された状態での使用はお避けください。

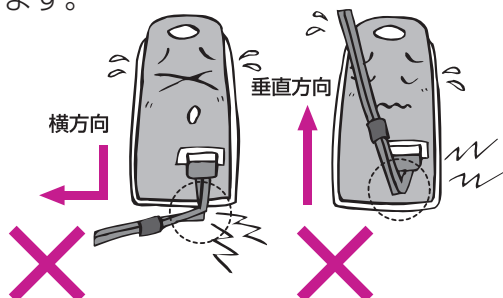
パッドが発熱したり、火傷または熱傷をする恐れがあります。またイス・ベッド・床などが焦げる恐れもあります。



警告

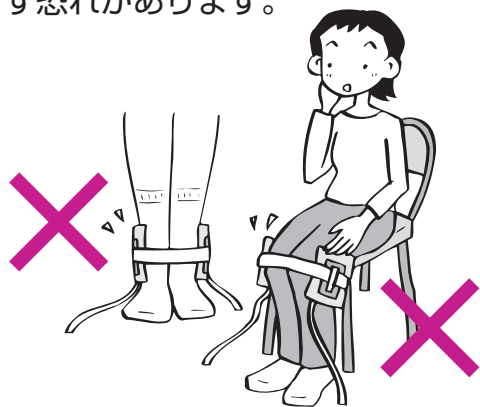
- 使用中、下図のような方向に超短波導子のコードを引っぱらないでください。

プラグの根元や内部で断線しやすくなります。



- 導子コードは特性上、使用中に一定の熱を持ちます。また長時間の使用や使用方法、出力設定などによっては更に温度が上昇することがあります。

- 足首や膝を合わせた状態で左右両側から導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても、左右の足が触れることがあり、接触部に火傷または熱傷を起こす恐れがあります。



注意

- 電話（携帯電話を含む）やインターフォン、テレビのリモコンやパソコン、精密機器などを使用しながら治療しないでください。

また使用中の電話機やインターフォン、自動ドアや火災報知器のセンサーの近くで治療しないでください。

電話機にノイズが入ったり、故障の原因となります。



- 他の電気製品とはできるだけ（2m以上）距離をあけて使用してください。

他の電気製品に異常を起こしたり、逆に電気製品の影響で、治療器に異常が発生する恐れがあります。

- 緊張せず快適で、しかも本器を使いやすい姿勢で治療してください。

- 治療中に周囲のイスやベッドなどの金属部や、他の人に触らないよう注意してください。

- 使用中、導子コードの抜き差しをしないでください。また、導子コードを抜く時は電源が切れていることを確認してから行ってください。

事故や故障の原因となります。

- 治療中にむやみに超短波導子やコードに触れないようご注意ください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

チリッと熱い感覚を受けることがあります。

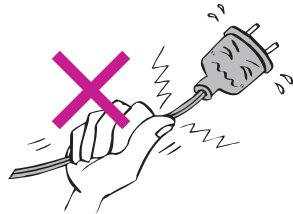
正しく安全にお使いいただくために

4. 使用後のご注意

⚠ 注意

- ❗ コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。

コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。



- ❗ 電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

- ❗ 次回の使用に支障がないように清浄にし、付属品収納袋に入れて、整理保管してください。

また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどもしないでください。

⚠ 注意

変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。

- 🔌 使用を中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

導子のプラグもコンセントから抜くなど、使用前の状態に戻してください。

- ❗ 操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。

- ❗ 導子カバーは定期的に洗濯するなど、常にきれいな状態でご使用ください。

- ❗ 機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「保守・点検に係る事項」を参照してください。

保管方法及び有効期間等

保管場所については次の事項に注意してください。故障の原因になることがあります。

⚠ 警告

- 🚫 風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、湿度の高い場所やほこりの多い場所ならびに水のかかる場所に保管しないでください。

機器の寿命を縮めたり、熱や水分などにより本体の変形や、火災や感電などの原因となります。

⚠ 注意

- ❗ 温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより品質に悪影響を及ぼす恐れのない場所に保管してください。

機器の寿命を縮め、火災や感電などの原因となります。

⚠ 注意

- ❗ お子様の手の届かない所に保管してください。

落としてけがや破損の原因となります。

- 🔌 長期間ご使用にならない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ❗ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないよう、安定状態に注意してください。

取扱上のご注意

警告

濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。

感電の原因となります。

機器を他にぶつかけたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。その時に異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。

誤って落とす場合は必ず点検を受けてください。

機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。

警告

一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前に製造販売元へ連絡してください。

点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。

注）販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けをして、さらに、「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。

間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

保守・点検に係る事項

1. 機器の故障及び改造に関する注意事項

警告

本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。

故障かなと思ったら使用を中止し、お買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。



本体ケースは絶対に開けないでください。

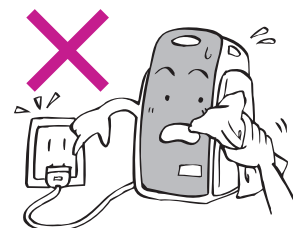
内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

本体及び付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。アルコール、水、ぬるま湯または中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。

警告

本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電などの事故の原因となります。





超短波導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱ってください。



また、使用頻度、条件により異なりますが、ご家庭で通常の使用状態で、年1回は点検を受け、付属品は遅くとも3年以内で早めに交換してください。

万一、コードに折れやキズ、焦げ跡があったら使用を中止し、早めに交換してください。

正しく安全にお使いいただくために



1. 注意事項 (つづき)



警告   3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合があります。


警告   本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。


使用状態・条件により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

2. 使用者による保守点検事項



警告   機器及び付属品は使用に際し、正しく作動することを日常的に点検してください。



  しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヵ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。

警告  スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

 事前のチェックや点検などで不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線のしかかり、電源プラグやコネクタの接続不良など）が見られた場合は必ず販売店または、製造販売元にご連絡ください。

3. 業者による保守点検事項

注意   性能を維持し、安全に使用するため、定期的（1年を目安）にお求めいただいた取扱店または製造販売業者に「定期点検」を依頼してください。

注意   消耗部品（付属品を含む）は定期的に交換し、付属品及び機器使用中の危険防止を図ってください。

保守・点検項目

項目	内容	方法
外観及び表示について	外観に損傷はないか、パネルは変形していないか、表示がちらついたりしていないか確認する。	目視による
操作	電源スイッチをONにし、正常に動作するか、不具合はないか確認する。	操作確認
付属品	損傷部分はないか、コードに断線部分はないか確認する。	目視による
安全操作	導子を接続し、通常の治療状態で導子を抜いた時、エラー表示となり出力が停止することを確認する。	操作確認

交換部品及び消耗品

名称	交換方法	交換時期
導子	販売店または製造販売元に依頼	点検により劣化が認められた時
装着ベルト	販売店または製造販売元に依頼	点検により劣化が認められた時

エラー(E1、E2)について

誤った使い方をした場合、タイマー表示部に「E1、E2」のエラーが表示されます。同時に「ピーピーピー」という警告音が鳴ります。

E1の表示は故障ではありませんが、下記の対応をされてもエラーが表示される場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または、製造販売元へお問い合わせください。

表示	主な状況	対応
E1	<ul style="list-style-type: none"> ◎導子のプラグが出力口に正しく差し込まれていない。 ◎または、プラグが抜けている。 	確実に導子のプラグを出力口に差し込み、出力スイッチと治療開始スイッチを押してください。
E2	<ul style="list-style-type: none"> ◎本体に異常が考えられる。 	電源を入れ直してください。それでもエラーが表示される場合は使用を中止し、販売店または製造販売元へご連絡ください。

雑音を低減するための注意

- 「ぬくもり2-W」での治療をしながら他の電気製品の使用は行わないようにしてください。
- 「ぬくもり2-W」を使用するときは、他の電気製品からなるべく離れて（2m以上）ご使用ください。
- 「ぬくもり2-W」を使用するときは他の電化製品とは別のコンセントを使用することをおすすめします。
- 電話（携帯電話を含む）やインターフォンなどを使用するときは、治療を一時中断してください。

ぬくもり2-Wの構成内容

本器を初めてご使用になる前に、

本 体

※本体の各部名称とはたらきは、P.16～17をご覧ください。



製 品 名	ぬくもり2-W
定 格 電 源	AC100V 50Hz/60Hz
定格消費電力	165W
発振周波数	27.12MHz
超短波出力	40W
タ イ マ ー	0～30分
本体寸法(mm)	435(高さ)×180(幅)×385(奥行)
本 体 重 量	約 7.0 kg

以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

付属品

※本器の付属品は、弊社製品「スーパーひまわり」と共通品となっております。



オレンジ導子〈Sひまわり〉 2個

※使い方はP.20~21
治療する部位にあてて使います。



ピンク導子〈Sひまわり〉 1個

※使い方はP.20~21
治療する部位にあてて使います。



付属品収納袋 1枚

使用後、付属品は汗などを十分に乾燥させ、次の使用に支障のないよう、保管してください。



導子カバー 2枚 (オレンジ導子〈Sひまわり〉用)

※使い方はP.23
オレンジ導子〈Sひまわり〉用のカバーです。
納品時はオレンジ導子〈Sひまわり〉にセットされています。



導子カバー 2枚 (ピンク導子〈Sひまわり〉用)

※使い方はP.23
ピンク導子〈Sひまわり〉用のカバーです。
納品時はピンク導子〈Sひまわり〉にセットされています。

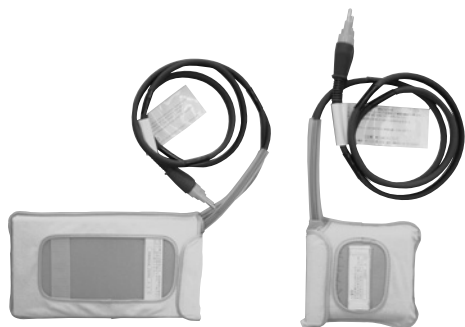


装着ベルト〈L〉 2本

※使い方はP.20~21
導子を固定するのに使います。

別売付属品

より効果的な超短波治療を行うために



オレンジ導子〈M〉 オレンジ導子〈S〉



ピンク導子〈S・関節〉



ピンク導子〈肩〉 ピンク導子〈L&S〉

本体の各部名称とはたらき

電源スイッチ

スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。電源が入るとタイマー表示が「0」分を表示します。

◆「入」の状態 ◆「切」の状態



治療開始スイッチ

スイッチを押すと治療を開始します。導子を出力口に差し込み、出力を設定した後にこのスイッチを押してください。

出力口

各導子のプラグを差し込みます。治療部位が1ヶ所の場合はどちらか一方をお使いください。※どちらでも使えます。
2つの導子を使う場合は、導子のプラグをそれぞれに差し込んでください。
※プラグは確実に差し込んでください。不完全ですとタイマー表示にエラーを表す「E1」が表示されます。



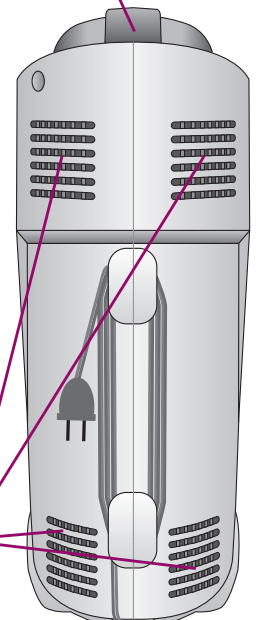
把手

移動の際はしっかり持って行ってください。
※把手の裏側に爪をひっかけないよう注意してください。

電源コード (プラグ)

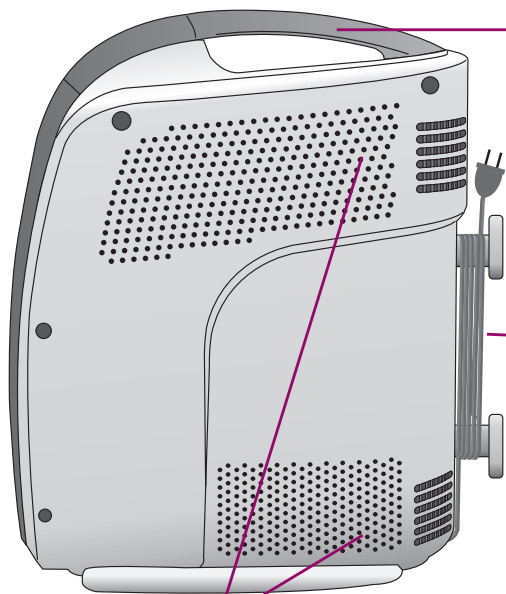
家庭用コンセント (100V) にプラグを差し込みます。使用しない時は必ずコンセントから抜いてください。

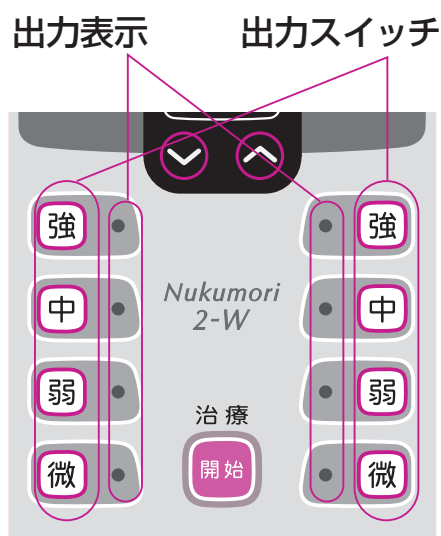
※電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。



通気孔 (背面・側面)

通気孔をふさがないでください。壁に寄せて使用しないでください。
※本体内部が熱をもち、故障や発火の原因となります。
また、通気孔につくほこりを定期的に掃除機などで吸い取ってください。





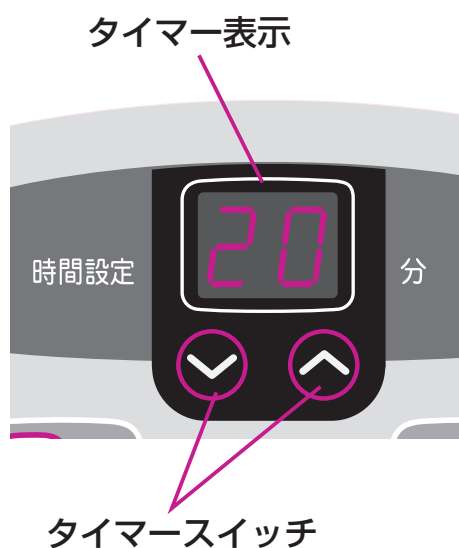
◆各出力スイッチの下方にある出力口の出力調節を行います。

◆出力スイッチ

・「微・弱・中・強」から出力を選びます。選択後、治療開始スイッチを押すと治療を開始し、治療時間「20分」が自動的に設定されます。

◆出力表示

・出力スイッチで選んだ出力表示（微・弱・中・強）が「点滅」します。
 ・オートチューニング（出力の自動同調機能）が作動します。
 ・「点灯」に変わるとオートチューニングが終了し、治療を開始します。



◆タイマースイッチ

出力調節を選ぶと治療時間は「20分」を自動設定します。治療時間を5分刻みで、最大30分まで設定できます。

※0分表示の時は時間の変更・設定はできません。

○治療時間を長くする場合

▲を押します。

一回押すごとに下のようになります。

20分 → 25分 → 30分

○治療時間を短くする場合

▼を押します。

一回押すごとに下のようになります。

20分 → 15分 → 10分 → 5分 → 0分

◆タイマー表示

1分ごとに数字が減少し、「治療の残り時間」を表示します。

※0分表示の時は超短波を出力していません。

◆エラー表示

誤った使い方をした場合、タイマー表示に「エラー (E1、E2)」が表示されます。

※詳しくはP.13をお読みください。

ぬくもり2-W の主な特長

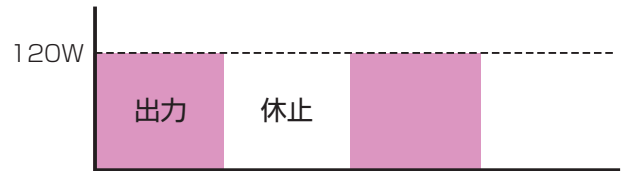
より高い温熱効果のパルス式（断続式）

- 1 連続式出力の超短波治療器に比べ、パルス式は瞬間的に約3倍の超短波エネルギーが発振されます。
- 2 超短波は高い出力ほど体内深部に浸透し、より高い温熱効果が期待できます。
- 3 断続型出力のパルス式は、穏やかな温感があり、安全性を考えた設計です。
- 4 その結果、あらゆる部位の超短波治療が行えます。

◆連続式



◆パルス式（断続式）



超短波の使用目的又は効果

超短波による局所の温熱効果 使用目的：一般家庭で使用すること

- 疲労回復
- 筋肉の疲れをとる
- 血行をよくする
- 神経痛、筋肉痛の痛みの緩解
- 筋肉のこりをほぐす
- 胃腸の働きを活発にする



使いやすく、安全性を考えた設計



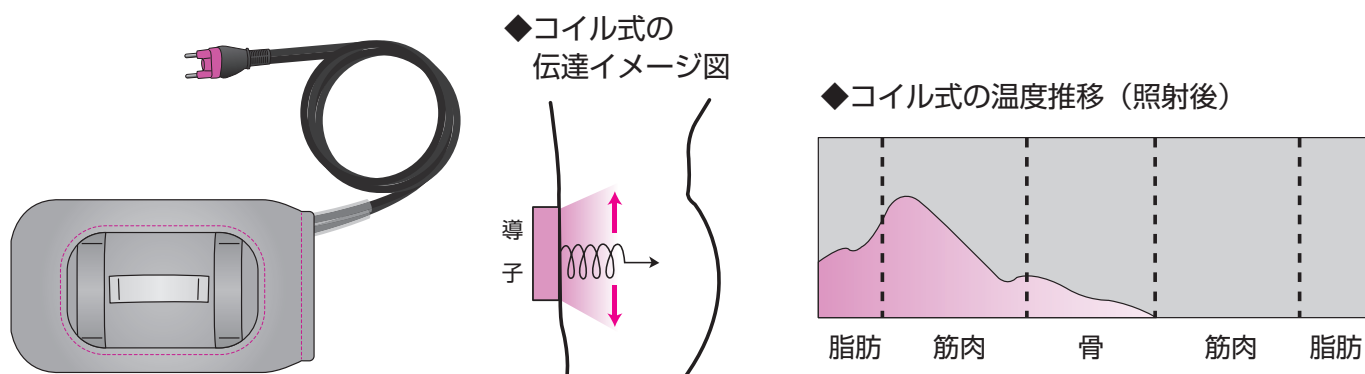
- 1 出力調節も時間設定も分かりやすく、一目で確認できます。
- 2 肌ざわりのよい新タイプの導子は体にフィットします。
- 3 誤った使い方などを「エラー表示」で知らせます。

※P.13をご参照ください。

**オレンジ導子〈Sひまわり〉（コイル式）または
ピンク導子〈Sひまわり〉（コンデンサー式）で目的に合った治療を行う。**

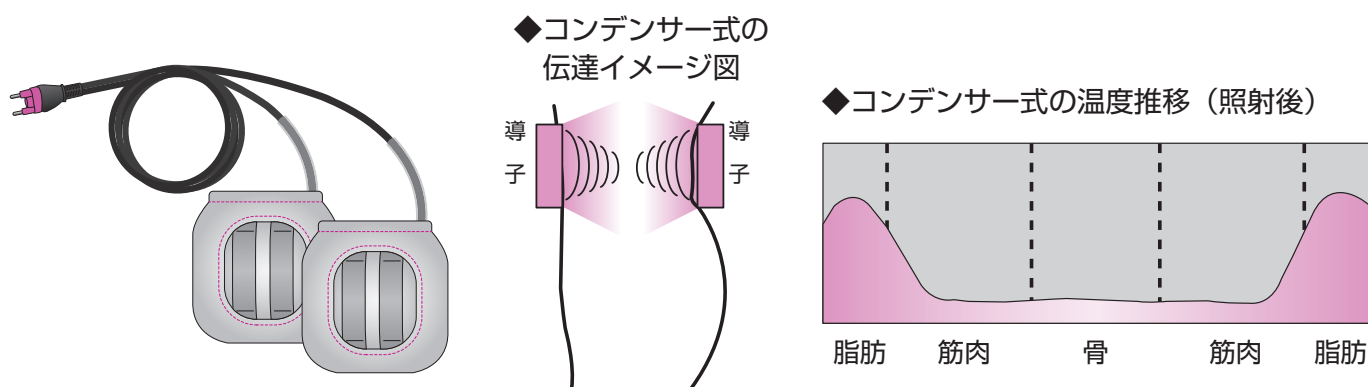
オレンジ導子 〈Sひまわり〉（コイル式）

使う導子は1つ。わずらわしさも少なく便利です。コイル式は超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します。（下イラスト参照）そのため、脂肪層に囲まれた胃や腸への治療に役立ちます。



ピンク導子 〈Sひまわり〉（コンデンサー式）

コンデンサー式は2つの導子（電極）で治療部位を挟んだり、並べたりしてあてて使う導子です。脂肪層の少ない肩や膝などの治療に役立ちます。

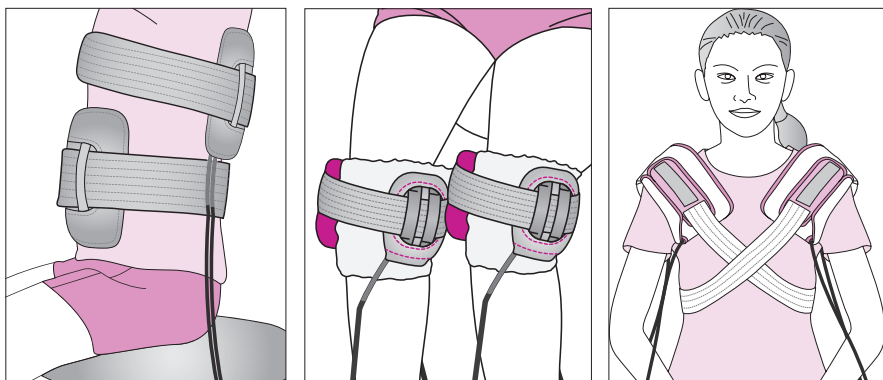


2つの導子を使っでの治療

「2ヶ所同時治療」や「より効果的な治療」が行えます。

治療目的に合わせてお選びください。

- ※2つ導子を使う場合は交互出力になっています。
- ※2つの導子で治療した時の温感は1つの導子で治療した時よりも低く感じます。



基本的な使用例

治療にあたって



**オレンジ導子〈Sひまわり〉
(コイル式)**



超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します。脂肪層に囲まれた胃や腸の内臓への治療に役立ちます。

**ピンク導子 〈Sひまわり〉
(コンデンサー式)**



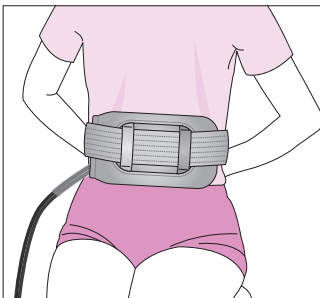
治療部位を挟んで使用します。脂肪層の少ない肩や膝、足首などへの治療に役立ちます。

オレンジ導子 〈Sひまわり〉 (コイル式) の使用例

脂肪層に囲まれている腹部はオレンジ導子 〈Sひまわり〉 (コイル式) を使いましょう。

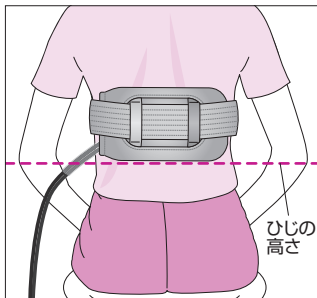
基本療法

○あてる体の部位は
へその上



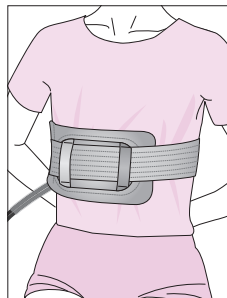
せい部透射法「中・20分」

○あてる体の部位は
背中の上 (ひじの高さ)

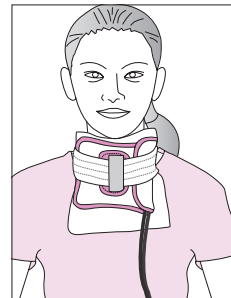


腎部透射法「中・20分」

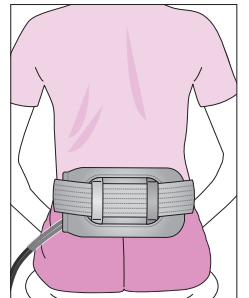
○あてる体の部位は
肝臓の上



○あてる体の部位は
気管支の上
※別売付属品
オレンジ導子〈S〉を使用



○あてる体の部位は
腰



ピンク導子 〈Sひまわり〉 (コンデンサー式) の使用例

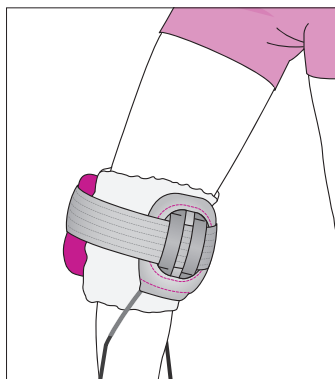
脂肪層の少ない肩や膝などの部位はピンク導子 〈Sひまわり〉 (コンデンサー式) を使いましょう。

肩にあてる

※別売付属品ピンク導子
〈肩〉を使用



膝にあてる



首にあてる

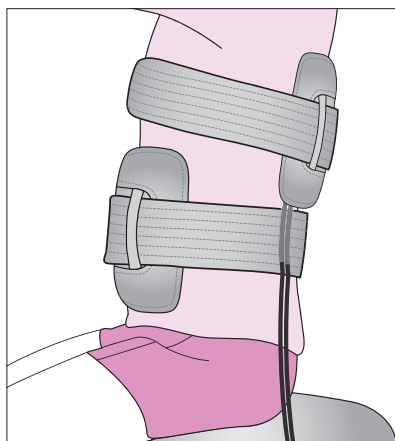
※別売付属品ピンク導子
〈S・関節〉を使用



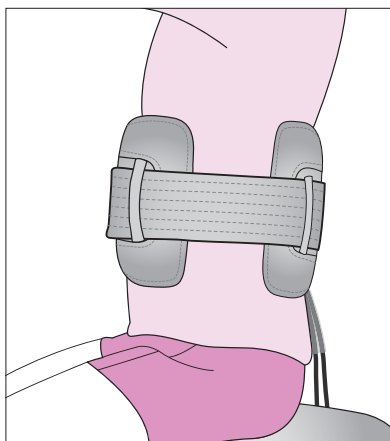
2つの導子を使っての使用例

2つの導子を使うことで、より効果的な治療を行えます。治療目的に合わせて選びましょう。

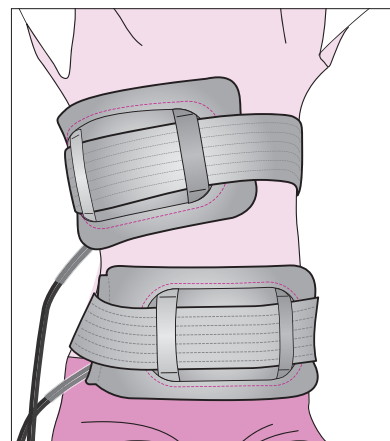
へそと腎臓にあてる



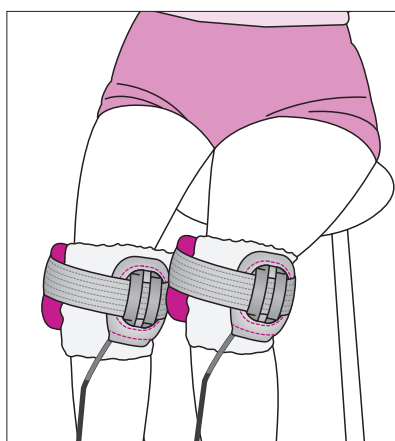
「冷えてるな」と感じる方に



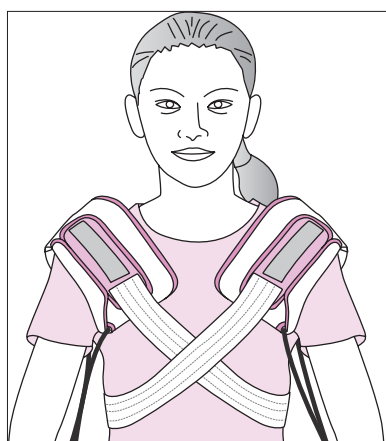
へそと肝臓にあてる



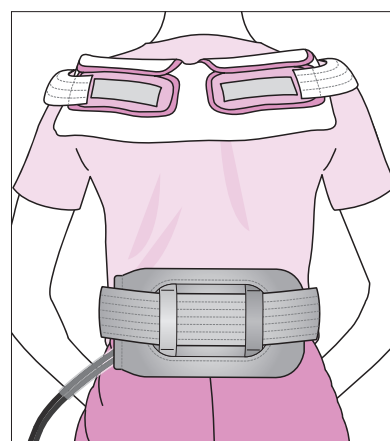
両膝にあてる



両肩にあてる



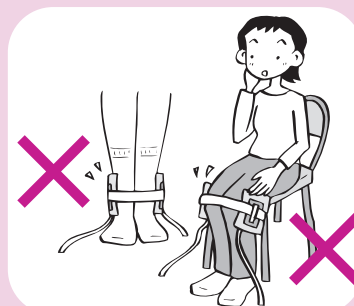
肩と腰にあてる



⚠ 導子を使用する際の警告

下記の点に注意して、正しく導子を使用してください。

- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- 電位（高周波・負電荷を含む）電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療する時は皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動するか確認してください。
- 2つの導子を使う場合は、導子を重ね合わせないでください。また、2つの導子コードが絡み合ったり、巻きついたりしないようにしてください。
- 2つの導子で2人を同時に治療しないでください。
- 2つの導子で同じ部位を治療しないでください。
- 導子は必ず装着ベルトで固定してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で導子をあてる治療は、絶対しないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす可能性があります。



使用順序 1 〈準備〉



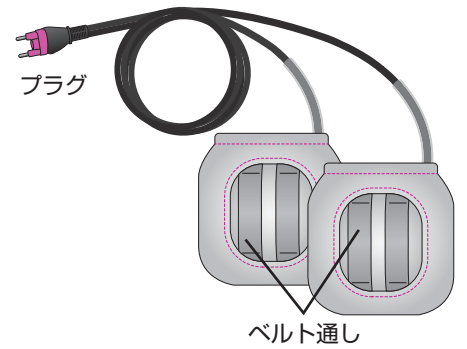
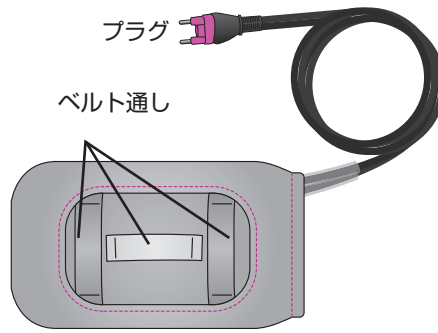
・タイマー表示
・エラー表示もここに表示される

電源スイッチ

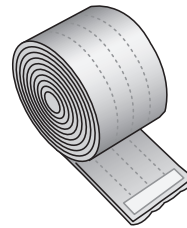
出力口

オレンジ導子 〈Sひまわり〉

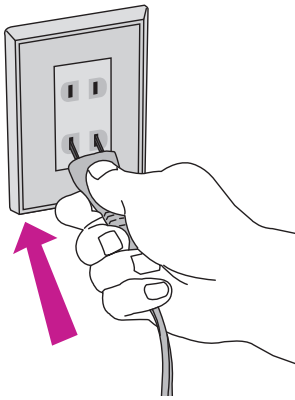
ピンク導子 〈Sひまわり〉



装着ベルト〈L〉

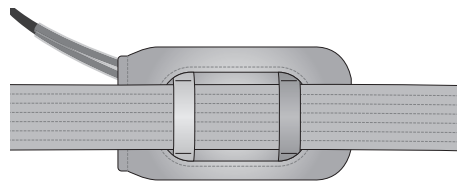


1 電源プラグを差し込む

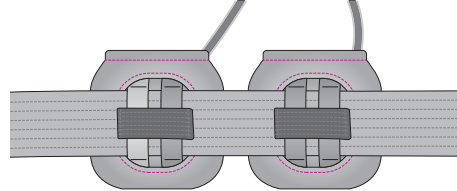


- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。
- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。

2 導子をセットする (導子カバー、装着ベルト〈L〉)



オレンジ導子 〈Sひまわり〉

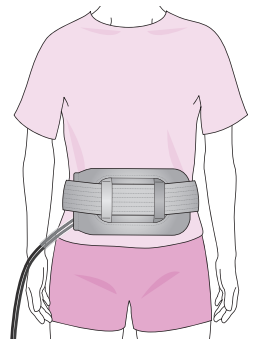


ピンク導子 〈Sひまわり〉

- 治療部位によって、オレンジ導子 〈Sひまわり〉 またはピンク導子 〈Sひまわり〉 を選びます。
- 各導子に装着ベルト 〈L〉 を通します。

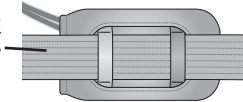
3 治療部位にあてる

- 導子はベルト通しのついていない面を体にあてます。



※体にあてる面は

ベルト

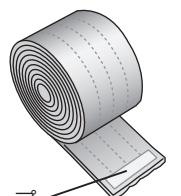


✗ こちらの面ではなくて



○ こちらの面を使います。

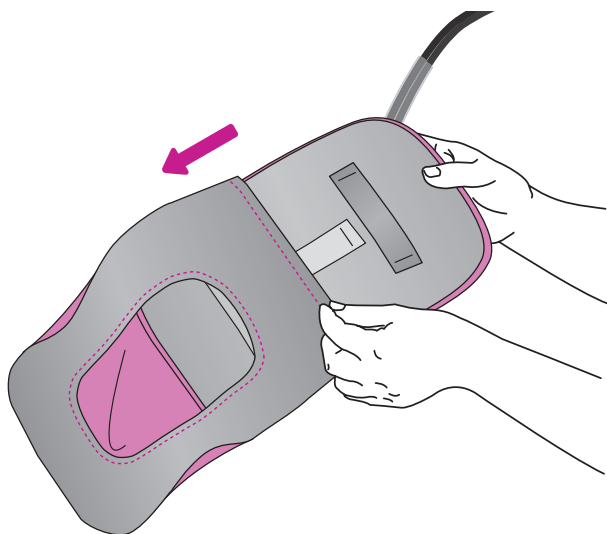
- マジックテープで装着ベルト 〈L〉 を固定します。



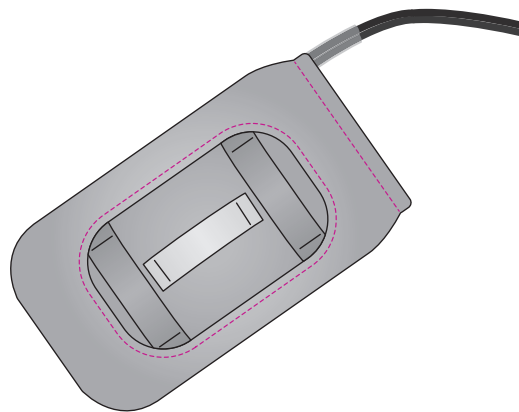
マジックテープ

導子カバーのセット

※下記のセットの仕方はオレンジ導子〈Sひまわり〉もピンク導子〈Sひまわり〉も同じです。

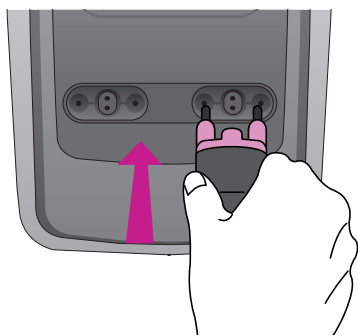


①導子カバーの開いた口から導子を入れます。導子のベルト通しがカバーの穴から見える向きにセットします。



②奥まできちんと入れた状態で、導子のベルト通しが確認できればセット完了です。

4 導子のプラグを差し込む



●使用する導子のプラグを出力口に確実に差し込みます。

※どちらの出力口に差し込んでかまいません。

※導子を2つ使う場合は、もう一方の導子のプラグをもう一方の出力口に差し込みます。

5 電源を入れる



●電源スイッチをしっかりと押して（カチッ）、電源を入れます。

※電源スイッチが「入」になっていることを確認してください。

※片方または両方の導子が接続されたことを自動認識します。

6 「0」分が表示される



●タイマー表示が「0」分を表示します。

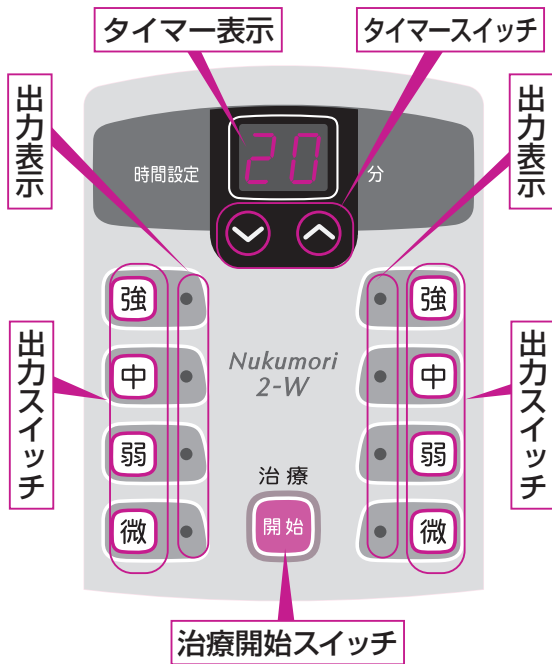
※この時点ではタイマーの設定はできません。出力を選択してから（次のページ）治療時間を設定してください。

エラー E1 分について

導子のプラグが出力口に正しく差し込まれていなかったり、抜けていたりすると「ピーピーピー」と警告音が鳴り「E1」が表示されます。出力口に確実に差し込んでください。

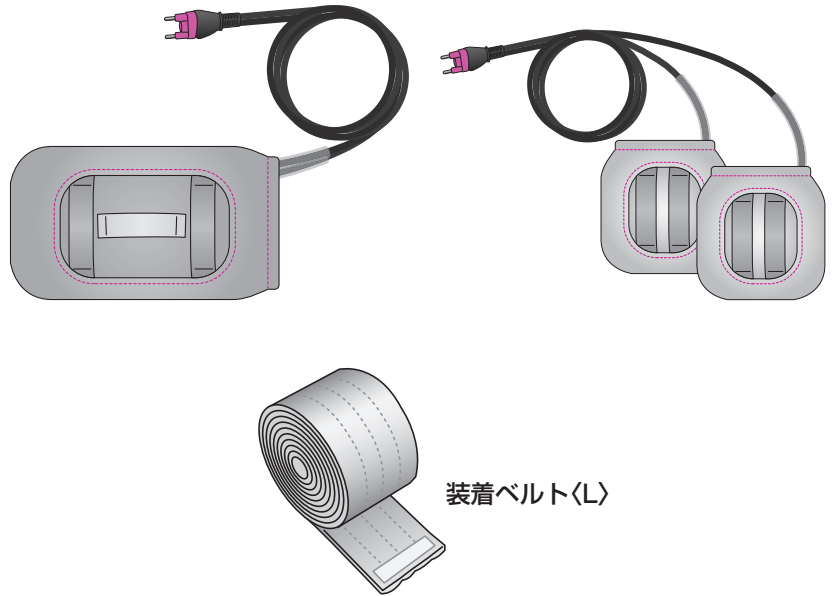
※詳しくは、P.13「エラー（E1、E2）について」をお読みください。

使用順序 2



オレンジ導子〈Sひまわり〉

ピンク導子〈Sひまわり〉



1 出力を選択する



- 電源スイッチを押して、導子が差し込まれている側の出力（微・弱・中・強）を選びます。

※2つの導子を使う場合は、両方の出力を選びます。

- 選んだ出力の出力表示が点灯します。

※導子が本体から外れたりすると“ピー・ピー・ピー”というエラー音とともにエラー表示（E1）が表示されます。

※P.13「エラー（E1、E2）について」をお読みください。

2 治療を開始する



- 治療開始スイッチを押すと、出力表示が点灯から点滅に変わり、同時にタイマー表示（治療時間）が20分を表示します。出力表示が点滅から点灯に変わり、治療を開始します。

※点滅時はオートチューニング中です。導子に触れたり、体を激しく動かしたりしないでください。

※2つの導子を使う場合もタイマー表示は共通です。

※使用中に本体から多少の音が出ますが、異常ではありません。

3 治療時間を設定する ……



- タイマースイッチで、治療時間を変更することができます。

▲を押すとタイマー表示が次のようになります。

20分 → 25分 → 30分

▼を押すとタイマー表示が次のようになります。

20分→15分→10分→5分→0分

※注）タイマー表示が0分になると出力が停止します。また、続けて使用する場合は、「1.出力を選択する」に戻り出力調節、時間設定の順で操作してください。

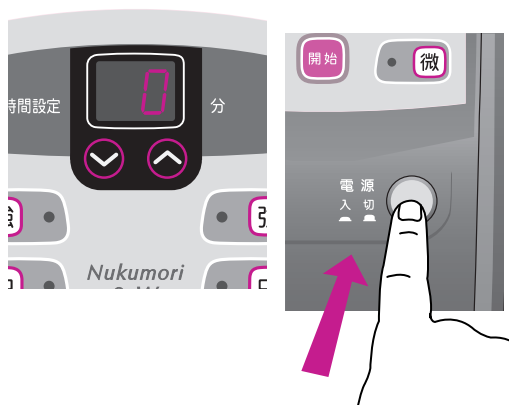
※定められた治療時間を越えて使用しないでください。


- 使用前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動することを確認してください。
- 濡れた手でコード類の抜き差しをしないでください。
- コード類はプラグを持って抜き差ししてください。
- 治療をしながら電話（携帯電話を含む）を使用しないでください。また、使用中の電話機の近くで治療しないでください。
- 他の電気製品の近くでは異常を起こす恐れがあるので使用しないでください。
- 使用中、プラグの抜き差しをしないでください。
- 他の人や金属類に触れないでください。
- 温感が高いと感じたら我慢せずに使用を中止してください。
- 汗をかいたら拭き取ってください。
- 本器や体に異常を感じたら使用を中止してください。
- 使用中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 2つの導子を使う場合は、導子を重ね合わせないでください。また、2つの導子コードが絡み合ったり巻きついたりしないようにしてください。
- 2つの導子で2人を同時に治療をしないでください。
- 2つの導子で同じ部位を治療しないでください。



注意

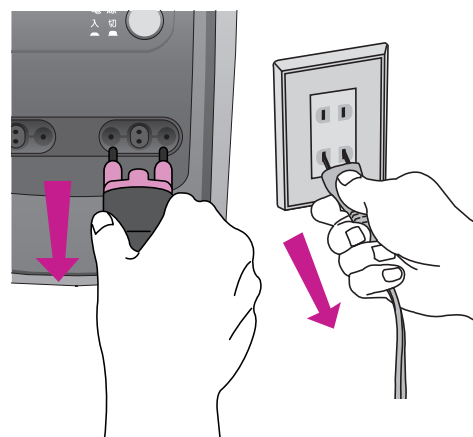
4 治療の終了と延長



- タイマー表示が0分を表示すると、出力表示が消灯し、出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は、使用順序2「1：出力を選択する」に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチをしっかりと押して（の状態）、電源を切ります。

※治療中ならびに治療の終了後も、本体内部を冷却するファンがまわります。ファンは治療の終了後3分で止まります。


5 整理と保管



- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清浄にし、整理保管してください。

※付属品収納袋をご使用ください。

中断と再開について

- 治療を中断する場合は、タイマースイッチ  を押して、時間設定を「0」分にします。
- 治療を再開する場合は、使用順序「1：出力を選択する」に戻り、手順に従ってください。

⚠ 中断時の注意

長時間中断する場合は、必ず電源を切ること。

故障かな？と思ったら

●修理・サービスを依頼される前に、次の表に従ってお確かめください。

症 状	調べるところ・原因・対策
電源が入らない	電源プラグが100Vコンセントに差し込まれていますか？
出力スイッチを押しても出力表示ランプが点灯しない	導子がきちんと差し込まれていますか。 →タイマー表示部に「E1」と表示されます。 ※P.13「エラー (E1、E2) について」をお読みください。

●電源プラグやコネクター、コード類は、定期的に点検・交換してください。

⚠ 注意

3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。

症 状	原因・対策
コードのカバーが傷んでいる	電源プラグやコネクター、コード類が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源プラグやコネクター、コードの一部が熱い	
使用中にコード類を曲げたり伸ばしたりすると、通電が停止する	

定期点検を受けましょう！

本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に付属品は消耗品ですので、定期的に点検し交換してください。

※使用状態により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

お客様相談室

ご不明な点がございましたらお気軽にお電話ください。

TEL. 048 (254) 1019

受付：平日（月～金曜日）

午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

操作早わかり



5 タイマースイッチで
治療時間を変更できます。

3 出力スイッチを押してください。

4 治療開始スイッチを押して
ください。

2 電源スイッチを押してください。

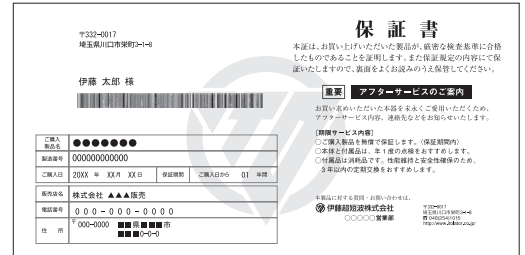
1 出力口に導子を差し込んで
ください。

本取扱説明書の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いください。

保証書の発行について

本製品に「保証書」が添付されていたお客様

修理などアフターサービスを受ける際に必要となりますので大切に保管してください。
保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または伊藤超短波株式会社にお問い合わせください。



本製品に「保証書」が添付されていなかったお客様

「ユーザー登録カード」が添付されています。

ご住所・生年月日・お買い求めの販売店などをご記入の上、郵便ポストに投函してください。本社に到着次第、本製品の「保証書」をお送りいたします。

※「ユーザー登録カード」が届きませんと「保証書」が発行されません。
必ずお送りくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録カード（文字色が茶色）

アフターサービス

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

お客様相談室

TEL.048(254)1019 FAX.048(254)1049

受付:平日午前10時~午後5時30分(土・日・祝日休み)

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

ISO 認証取得

当社は医療機器品質マネジメントシステムISO 13485、
環境マネジメントシステムISO 14001(工場)を取得しています。

製造販売元



伊藤超短波株式会社

埼玉県川口市栄町3-1-8 ☎048(254)1015
http://www.itolator.co.jp/

ヘルスケア営業部：営業所

札幌 ☎011(832)1651 横浜 ☎045(949)0024 広島 ☎082(292)3320
仙台 ☎022(306)3883 名古屋 ☎052(703)2207 福岡 ☎092(591)3697
首都圏 ☎048(254)1016 大阪 ☎072(242)1015 鹿児島 ☎099(255)6587

販売店